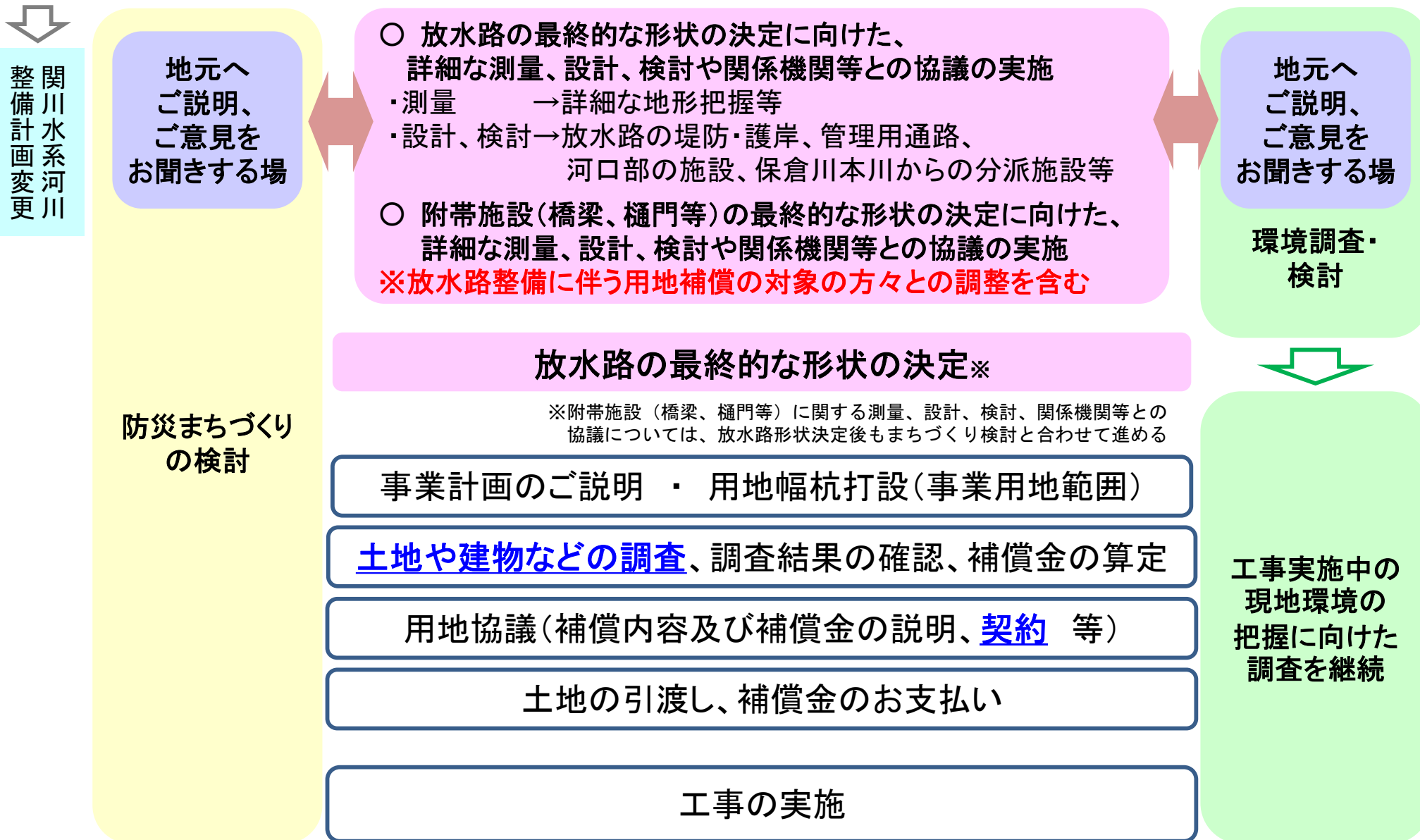


第26回 関川流域委員会

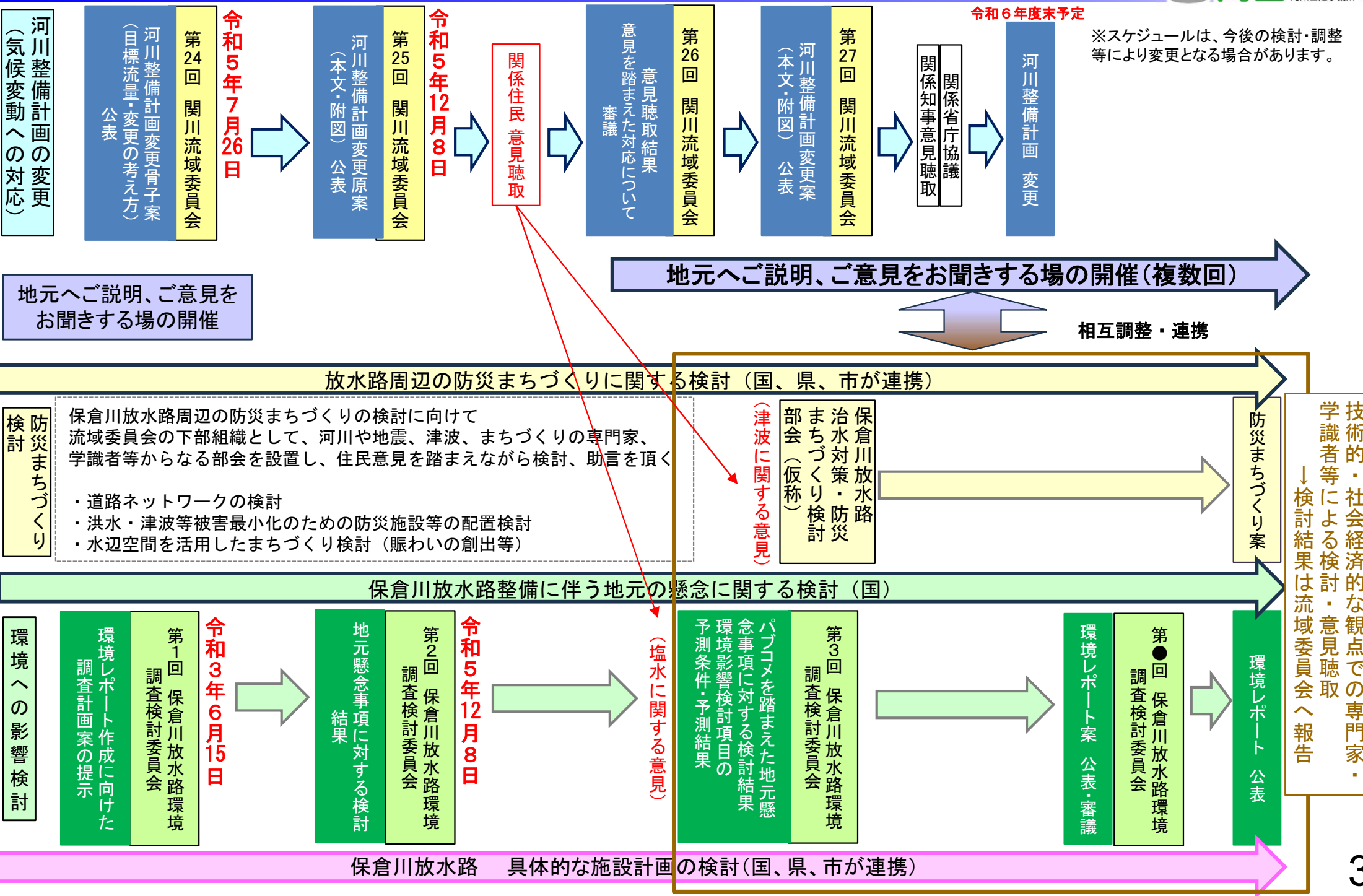
保倉川放水路治水対策・防災まちづくり 検討部会（仮称）の概要

令和6年7月3日
北陸地方整備局 高田河川国道事務所

保倉川放水路ルート提示(R5.12.8)



今後の進め方（案） 令和6年度



背景・課題

- 気候変動を踏まえた河川整備計画目標流量の変更
- 河川整備計画変更原案へ保倉川放水路を位置付け



- 放水路整備に伴う周辺地域のまちづくり検討の必要性
- 令和6年能登半島地震を踏まえた津波等のハザードへの対応



対応策

- 気候変動を踏まえ変更する河川整備計画に位置付けられた河川整備内容の各種検討、整備

- 放水路の最終的な形状の検討
- 放水路整備に伴う附帯施設等の最終的な形状の検討
- 防災まちづくり検討

保倉川放水路治水対策・まちづくり検討部会（仮称）での検討内容

検討事項

治水対策

- 放水路の最終的な形状
- 周辺環境・景観と調和が図られた施設計画 等

まちづくり

- 放水路を核とした新たな道路ネットワークの構築
- 都市施設の配置計画 等

考慮する観点

- 科学的・技術的・社会経済的な妥当性
- 流域住民の懸念等への対応
- 洪水、地震・津波等のハザード被害最小化

流域関係住民、河川管理者、関係機関全体で対応策の合意形成